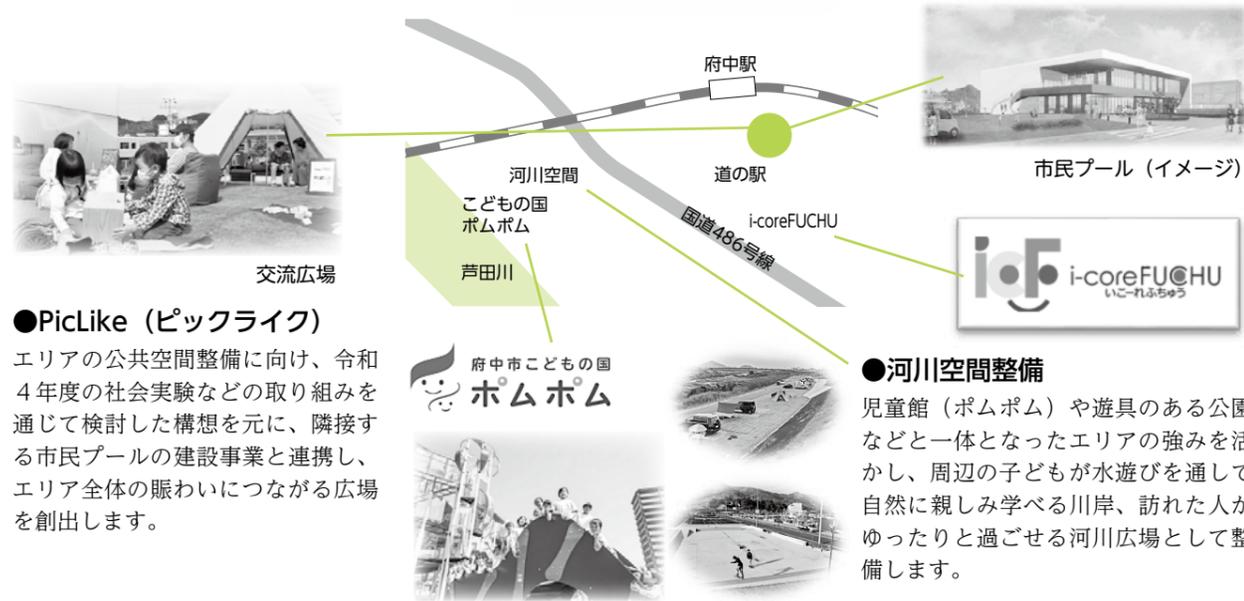


# 3 活気・賑わいを生むまち

◇市民・団体・企業・行政の総力で地域の魅力を向上し、賑わいと活力を創出します

## 3-① グランドデザイン実現に向けたステップ事業 予算額 約1億5,017万円

道の駅などの拠点施設が集中する「府中駅南エリア」の賑わいづくりのため、交流広場やスポーツ施設を整備します。また、周辺のエリアとの回遊性を高め、市内全体の賑わい・活性化につなげていきます。



### ●PicLike (ピックライク)

エリアの公共空間整備に向け、令和4年度の社会実験などの取り組みを通じて検討した構想を元に、隣接する市民プールの建設事業と連携し、エリア全体の賑わいにつながる広場を創出します。

### ●河川空間整備

児童館（ポムポム）や遊具のある公園など一体となったエリアの強みを活かし、周辺の子どもが水遊びを通して自然に親しみ学べる川岸、訪れた人がゆったりと過ごせる河川広場として整備します。

### ●河川空間整備

児童館（ポムポム）や遊具のある公園など一体となったエリアの強みを活かし、周辺の子どもが水遊びを通して自然に親しみ学べる川岸、訪れた人がゆったりと過ごせる河川広場として整備します。

## 3-② i-coreFUCHUを活用した賑わいづくり 予算額 約2億1,606万円

第2期整備として、来客者からの要望が多い飲食機能（カフェ）に加え、「ものづくりのまち」を想像させるコンテンツを設置することで、人・企業・地域をつなぎ、多種多様な地域資源を活用した「コトおこし」を後押しする空間を整備します。



カフェイメージ

◇すべての人がスポーツを楽しめる環境を整備するとともに、スポーツによる地域の賑わいを創出します

## 3-③ スポーツを活用した賑わいの創出 予算額 1億200万円

上下運動公園人工芝グラウンド、スポーツ&ウェルネス拠点施設としての新しい市民プールの整備を契機として、外部知見との連携を図りながら、地域住民を主体としたスポーツを活用した賑わいを創出します。

### ●新たな市民プールの整備 9ページに関連記事を掲載

府中駅周辺の新たな人の流れをつくり、エリア全体の賑わいにつなげるため、新たな市民プールを建設します。

### ●合宿所の整備（上下地区お試し住宅整備）

合宿などに利用できる施設を整備し、県内外からスポーツ合宿や大会を誘致します。

### ●トップチームとの連携

トップアスリートと交流する機会を創出し、スポーツへの興味・関心を高めていきます。

### ●スポーツ振興の拠点づくり

従来の体育活動に関する活動だけでなく、健康長寿・フレイル予防、スポーツを通じた地域経済活性化など、新たなスポーツの価値にマッチした活動を展開していくため、総合型地域スポーツクラブを設立します。

◇市民に愛され、市外在住者からも選ばれる「社会増減ゼロ」のまちを目指します

一部  
新規

## 3-④ 関係人口創出事業 予算額 約784万円

大都市圏から地方への「ヒト・情報」の流れを新たに創出するため、移住にまで至らずとも当該地域と関わる機会を提供することで関係人口の創出を図ります。

- 府中市版ふるさとワーキングホリデー ●大学・地域協働による地域課題の解決支援
- 上下地区お試し住宅整備



一部  
新規

◇歴史・文化・ものづくり・食などの多彩な地域資源を活かした観光振興により、地域を活性化します

## 3-⑤ 恋しきを活用した賑わいづくり 予算額 約1億660万円

出口地区周辺エリアの観光まちづくりを推進するため、まちづくりの核であり、食の魅力発信拠点となる恋しきの料亭としての再出発に向け取り組みを進めるとともに、エリア内の面的な開発方針を検討します。

- 恋しきの保存・活用 ●食の魅力発信 ●出口地区周辺マネジメント（計画策定）



# 4 安全・安心が持続するまち

◇自然災害をはじめとしたさまざまなリスクから命を守る取り組みを推進します

## 4-① 排水路(浸水)対策事業 予算額 4,500万円

近年の豪雨により市内各所で内水浸水被害が発生していることから、将来にわたり安全で安心して生活できる地域づくりのため、特に被害の大きかった地区の排水路（浸水）対策を行います。

新規

## 4-② 河川浚渫事業 予算額 2,300万円

豪雨による河川の氾濫を防ぎ、市民生活の安全安心を確保するため、河川に堆積した土砂の撤去を行います。

一部  
新規

## 4-③ 地域防災力強化事業 予算額 約4,843万円

地域防災力の中心の役割を担う消防団は、少子高齢化や若年層の流出、就業構造の変化に伴って団員の確保が困難な状況となっていることから、団員の処遇改善や負担軽減などに取り組みます。



◇生涯を通じた市民の健康づくりを推進します

新規

## 4-④ 骨の健康増進によるフレイル予防 予算額 約94万円

骨折により介護・介助が必要となるケースが多いことから、サロンなどの通いの場で骨密度測定を行い、フレイル状態にある高齢者などを把握し、効果的な健康教育・健康相談を行います。また、府中市民病院と連携し、イベントなどを通じて若い世代へも骨づくりに重要な知識の啓発を行います。